

令和5年11月22日

鳥取県知事定例記者会見

「大麻グミ」は県条例違反です！

鳥取県では「大麻グミ」も「危険薬物」として、**販売、所持、使用等を条例により禁止！**
県外からのインターネットを通じた販売についても、条例違反となり罰則適用！

県外で相次ぐ「大麻グミ」による健康被害

県外においていわゆる「大麻グミ」を食べた後にめまい、嘔吐や意識不明等の**健康被害が生じ、救急搬送される事例が複数発生**

▶ 厚生労働省による立入調査の結果、「大麻グミ」から健康被害を起こす恐れのある物質「HHCH」が検出され、引き続き調査を実施

鳥取県における危険薬物の規制【鳥取県薬物の濫用の防止に関する条例(平成26年改正)】

【平成26年の改正の経緯】

当時の薬機法に基づく取り締まりは、薬物の成分を特定して告示しなければ違法とされない解釈・運用
⇒危険ドラッグが横行し社会問題に

▶ 成分が特定されていなくても、「大麻、覚醒剤、麻薬等と同等に、興奮、幻覚、陶酔等の作用を人の精神に及ぼし、健康被害が生じるおそれがある物であって、人が摂取し、又は吸入するおそれがあるもの」を「危険薬物」として条例により規制

製造、販売、所持、使用等の行為を**全面的に禁止**

立入調査、警告、中止命令等へ従わない者に対する**罰則(2年以下の懲役又は100万円以下の罰金)**

【県条例改正後の国の動き】

薬機法を改正し、物質名を特定しない物品については、製造・販売などに係る検査命令、販売禁止命令等の規制を導入したが、当該物品が直ちに違法となるものではなく、使用や所持等については指定薬物に指定するまでは違法にならない。

健康被害を未然に防止するため国も危険薬物の使用や所持等も規制対象とすることを検討すべき

大麻グミ相談窓口を設置

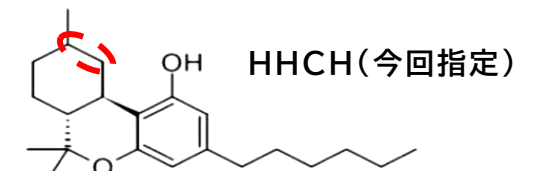
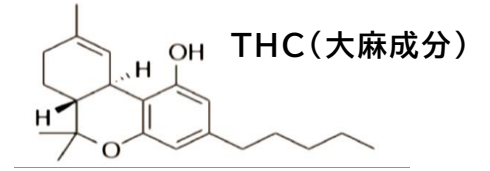
鳥取県庁 医療・保険課(0857-26-7203)ほか最寄りの保健所

● 条例違反になりうる事業者には条例違反になり得ることを通知する。

県政参画電子アンケート

(H26.8実施)

→94.6%が危険ドラッグに罰則を科すべきと回答



鳥取県では、分子構造が変わっても幻覚等の作用を人の精神に及ぼし、健康に対する被害が生ずるおそれがあるものは、すべて違法です。

11月補正予算

総額 37,952百万円

鳥取県総合経済対策

31,318百万円

物価高を乗り越える緊急対策

3,111百万円 (先議)

- 生活困窮者向けの灯油等高騰分支援 (県・市町村1/2) 2億円
- L P ガス・特別高圧電力料金高騰支援 4.5億円
- 医療・社会福祉・保育施設等物価高騰支援 13.4億円
- 賃金を引き上げながら物価高騰を乗り越えようとする中小企業に対する設備投資や人材育成支援 8.2億円
- 和子牛価格下落を踏まえた和牛繁殖農家への支援 35百万円
- 農林水産業、交通事業者、私立学校、クリーニング業への物価高騰支援 ほか

産業・雇用とくらしを支える

9,344百万円

- 介護・障がい・保育・児童福祉施設職員等の処遇改善支援 5.9億円
- 国際航空便再開を踏まえたプロモーション・受入環境充実 15百万円
- インバウンド等に向けた「食パラダイス鳥取県」の魅力発信・磨き上げ 10百万円
- 産業未来共創基金を増枠し、企業の設備投資等を強力に推進 21億円
- コメの高温障害対策 (星空舞への品種転換に向けた実証等) 3百万円
- 多職種専門家による「こども・若者の自死危機対応チーム」の新設 6百万円
- 小中学校 1人1台学習端末の計画的な更新のための基金設置 24億円 ほか

防災・減災対策、道路ネットワークの機能強化

18,863百万円

- ため池や頭首工などの土地改良施設の防災・減災対策
- 地域高規格道路の整備促進 ほか

台風第7号災害からの創造的復興

～ 次の災害に備えた強靱な地域づくり ～ 1,000百万円

- 県道麻生国府線のリダンダンシー確保のためのバイパス整備 (八頭町福地)
- 私都川の一体的な護岸整備 (八頭町門尾)
- 塩見川の洪水防止を図る一連の河道整備 (鳥取市福部町細川)
- 砂防堰堤整備、急傾斜地崩壊対策 (三朝町穴鴨) ほか

活力と安心のふるさとづくり

5,634百万円

- 未来の鳥取県をテーマにした県民参加・公開型ラジオ、企業・団体連携による若手世代交流イベント 3百万円 (※とっとり未来創造タスクフォースが立案した初めての予算)
- 「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」の機運醸成や選手団のおもてなしに向けた活動への支援 5百万円
- 「とっとり子ども救急ダイヤル (#8000)」の完全24時間相談体制へ (※現在、平日夜間のみ、土日祝24時間対応だが、来年4月からの小児医療費無償化に合わせて、平日含めた24時間対応に向け準備開始)
- コミュニティ・ドライブ・シェア (鳥取型ライド・シェア) 推進事業 70百万円 ほか

(新)コミュニティ・ドライブ・シェア(鳥取型ライド・シェア)の導入

コロナ禍を経て、ドライバー不足や利用者の減少により、事業者の撤退や路線の縮小が発生

⇒ 中山間地域における移動手段等を確保するため、**バス・タクシーと住民の協働型交通システム構築**や**住民共助型運送**など、住民・事業者・行政の共創による「コミュニティ・ドライブ・シェア」推進制度を創設
※市町村への間接補助金・補助率:1/2、ハイタク協会等への間接補助金・補助率:2/3

①交通事業者等と住民ドライバーとの協働型

- ・ **バス・タクシー事業者等と住民ドライバーとの協力**により、運行管理に係る負担軽減や安全性の向上を図り、事業の持続可能性を高めた交通空白地有償運送
 - 住民ドライバーの**運行管理・遠隔点呼等に係るタクシー事業者等への委託費**や**AIオンデマンドシステム導入**等を支援
 - 住民ドライバーを新たに**確保する際の奨励金**、**自家用車メンテナンス費**、**安全装置・保険料**等を支援



②住民共助型

- ・ **タクシー事業者等が撤退した空白エリアでの住民自らによる共助運送**
 - **運行経費**(運行収入で賄えない部分)等を支援



③事業者無償運送活用型

- ・ **観光・宿泊事業者等の送迎車両や貨物車両の空席を有効活用した空白エリアでの無償運送**
 - 送迎車両の燃料費や保険料の**実費相当**を支援

④市町村主体型

- ・ **市町村によるデマンドバス運行やタクシー相乗り促進など市町村主体による交通体系構築**

⑤交通事業者主導型

- ・ **バス・タクシー事業者のドライバー確保**
 - **2種免許取得経費**、**求人に係る広報費**等を支援

国に対しては、財政支援や自家用有償旅客運送に関する規制の緩和等を要望

香港企業による県章類似マークの不正使用を受けての対応

- ・香港企業が県章類似マークを使用して県とは無関係の食品を販売していることが判明
- ・香港企業に使用中止を求めるとともに、同様の被害防止やブランド向上の対策を実施

【香港企業への対応】

【事案の概要】

- ・香港の食品見本市（R5.8月）に、県とは無関係の香港企業が県章類似マークを使用した商品を出展していることを確認。
- ・当該企業のHPでも県とは無関係の食品にマークを表示して販売。



【対応】

・県章の商標登録を出願（11/8）

中国、香港での食品関連5分類（食肉・魚介類、菓子、果実・野菜、果実飲料、酒類 等）

・県章類似マークの使用中止を求める警告文書を送付（可及的速やかに送付するよう手続中）

→相手が応じない場合には、訴訟も辞さない毅然とした対応を行う。

【鳥取県ブランド保護・向上タスクフォース】（11/22設置）

副知事をトップに関係部局で構成するタスクフォースを立ち上げ、今回の事案への対応を行うとともに、同様の被害を未然防止し、ブランド向上のための対策を行う。

- ＜対策＞
- ・保護が必要なロゴ、マーク、キャッチフレーズ、キャラクター等の洗い出しを行う
 - ・保護が必要なものは商標法に基づく商標登録を行う



「シン・子育て王国とっとり計画」骨子(案)

- 子ども、若者、子育て世代や「若者活躍局」「若手タスクフォース」の意見を反映
- 国こども大綱・こども未来戦略(年末)、パブリックコメント(12月下旬～1月)、子育て王国とっとり会議等を経て今年度内に計画策定 ⇒R6当初予算

1 子どものライフステージに応じた切れ目のない支援 <骨子案>

- ・ 誕生前～幼児期、学童期・思春期、青年期

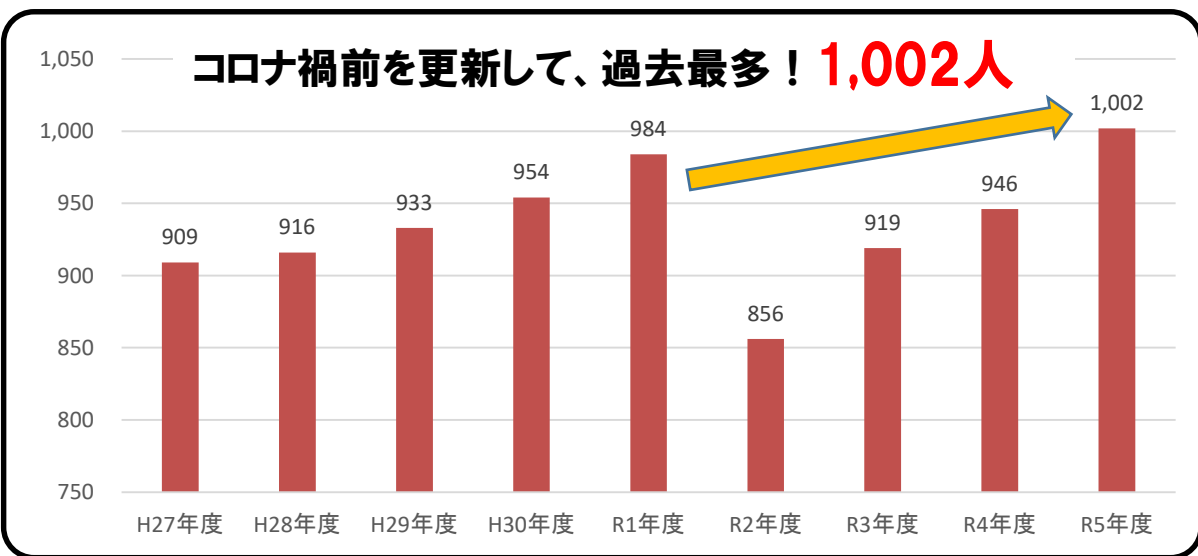
2 子育て当事者への支援

- ・ 子育てや教育に関する経済的負担の軽減
- ・ 地域における子育て支援、家庭教育の支援
- ・ 安心して子育てできるための職業生活と家庭生活の両立
- ・ ひとり親家庭への支援

3 特に支援が必要な子どもの健やかな生活の支援

- ・ 孤独・孤立への対応、子どもの貧困対策
- ・ 慢性疾病・難病を抱える子ども・若者への支援
- ・ 障がい児・医療的ケア児への支援
- ・ 児童虐待防止対策等の推進、社会的養護の推進
- ・ 子ども・若者の自死対策、犯罪等から子ども等を守る取組

令和5年度上半期(4月～9月)移住者数



年間移住者3,000人に向けた施策を推進

若者目線の「鳥取暮らし」情報発信
～「とっとりdiary」～

とっとりへウェルカコーディネーターを中心に、新たに14名をとっとりdiaryインフルエンサーに任命してチームとっとりdiaryを結成。様々なテーマで「リアルなとっとり暮らし」を発信

季節の風景、地域の行事、鳥取の食、子育てなど



メタバース空間での交流促進
～バーチャルとっとり～

県外にしながら鳥取と継続的に関わることのできる「デジタル環境を活用した若者の新しいコミュニティサイト」を構築中

婚活イベント(3月)、バーチャル同窓会(3月)など



※バーチャルとっとりイメージ

冬期における道路等交通確保体制

道路の交通確保体制

除雪機械の増強	<ul style="list-style-type: none"> ・ 375台 (H28) → 512台 (R5) (+137台) ・ 除雪機械全車へGPSを配備
「重点除雪区間」の設定	(区間1) 広域物流、災害時の緊急輸送路等の交通を確保 (区間2) 主要生活道路の交通を確保
除雪基準の見直し	(出勤基準) 10cm程度 → 5~10cm程度
タイヤの増設	153台 (H28) → 255台 (R5) (+102台)
広報活動等	<ul style="list-style-type: none"> ・ ホームページやあんしんトリピーメール、SNS等により、大雪時の不要不急の外出抑制や広域迂回の呼びかけ。 ・ 冬用タイヤ・チェーン等の装着指導の実施。

関係機関との体制の強化・再確認

冬期道路交通確保対策会議の開催(11/15)

…国土交通省、県、市町村、警察等の合同で開催
 道路交通の安定確保に向けた連携を確認。

鳥取道の通行止めに伴う国道373号への車両流入抑制

鳥取道が通行止めとなった場合

⇒ 県境の志戸坂トンネルも通行止め

- 国道53号智頭宿交差点に誘導員を配置し、迂回誘導
- 岡山県側にも誘導員を配置し、県境に向かっての車両流入を抑制(岡山県対応)

※国、NEXCOと連携し、広域的な迂回を呼びかけ

インフルエンザ、新型コロナ等の感染症発生動向

<インフルエンザ>

- ・ 例年より早く流行(主にA型)
- ➔ 県内全域に警報発令中(11/1~)
- ・ 第45週(11/6~12)は減少したが、引き続き感染対策が必要

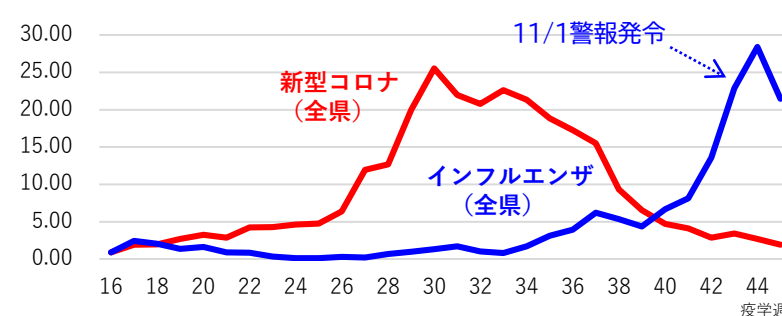
<新型コロナ>

- ・ 10月中旬以降、低い水準で推移
[定点当たり患者報告数(第45週(11/6~12))]
 1.90人(東部2.00人 中部1.00人 西部2.27人)
- ・ 引き続きXBB等の組換え体が9割以上を占める(特にEG.5系統(エリス)が約4割を占め増加傾向)

<その他>

- ・ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎
 ➔ 県内全域に警報を発令中(10/4~)
- ・ 咽頭結膜熱(プール熱)
 ➔ 全国では患者数増加中
 県内でも例年に比べて高い傾向

新型コロナ及びインフルエンザ患者報告数の推移
 (定点医療機関・週当たり)



野鳥からの鳥インフルエンザ検出を受けて対策の強化

11月21日、鳥取大学が日光地区で採取した野鳥糞便から高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5亜型)を検出

1 養鶏場対策

- ・ ウイルス検出場所の**周囲10km以内の養鶏場に立入検査**を実施。
- ・ 県内発生予防の対策をまとめた**チラシを各養鶏場に配布**し、飼養衛生管理基準遵守を再度徹底
- ・ 家畜保健衛生所が水辺に近い養鶏場を重点的に巡回指導

2 野鳥監視体制の強化(11月21日~)

野鳥監視	週2回	毎日(重点区域内) 週3回(重点区域外)
	隔週	毎週
糞便等調査	4カ所	6カ所
	日光地区、湖山池 米子水鳥公園 東郷池	日光地区、湖山池 米子水鳥公園 東郷池 天神川、佐陀川



両施設への
ネーミングライツ
導入は**初!**

鳥取県立倉吉未来中心・鳥取県立鳥取二十世紀梨記念館

ネーミングライツパートナー優先交渉権者の決定

「株式会社エースパック」を優先交渉権者に決定!

応募概要

応募金額：年額1,200万円
応募期間：3年（令和6～8年度）



企業概要

株式会社エースパック（廣川グループ）
（エースパック鳥取倉吉工場、廣川マテリアル鳥取倉吉工場）



活き活き人財育成塾の開講

県民目線で対応できる政策形成能力と実行力を備えた県行政の将来を担う人財を育成する塾を開講

◆開講式 11月24日（金）

・塾長：平井知事 ・塾生：20代～30代の職員13名

◆「研修」

・塾生が希望する能力・スキルを身につけるための**オーダーメイド型の研修**受講

◆「意識」

・「発想力」「交際術」「プランニング」など、第一線で活躍されている「**その道の達人**」からの**言葉、想いによる触発**

◆「実践」

・課題・テーマを設定し、**現場視察、活動者との意見交換等の場を設定**するとともに、施策に係る情報収集・分析や施策検討、情報発信など、塾生の活動と業務とを連携させて、**実践の場における能力向上**を図る。



○研修や「その道の達人」、実践の場における活動者との意見交換

○若手職員が現場に飛び込み、実情に応じた課題を自ら見つけ出し課題解決方策を考える

政策形成能力の向上

○役所流を脱して相手の心に届く「**コミュニケーション力**」を向上

○前例や横並び主義にとらわれない「**創造性**」、「**自ら考える力**」を習得

○自ら地域で住民・現場の声に接し、「**住民・現場目線**」、「**人間力の向上**」を促進

新産業創出の動き

「とっとりクリエイターズ・ビレッジ」プロジェクト

(株)講談社と連携して、鳥取の地でデジタルコンテンツの未来を創るクリエイター育成をスタート

※デジタルコンテンツ：ゲーム、マンガ、メタバース、VRなど

- ◇ 12月1日からクリエイターを全国公募
- ◇ 選抜したクリエイター(最大5名)は、境港市に移住して活動を開始(R6.3月予定)。

▼境港市の「サインイン・コワーキングオフィス」を拠点として活用します



経済対策等に係る商工団体・金融機関等との情報連絡会議（11月24日）

11月補正予算（鳥取県総合経済対策）、ゼロゼロ融資等資金繰りなどの現状と今後の対策について意見交換

宇宙産業関連（佐藤精機株式会社（姫路市））

はやぶさ2が持ち帰った惑星試料の真空輸送装置を手掛ける同社が**オフィス兼ショールーム**を設置！

(株)amulapo (R3.4)、(株)スペースシフト (R3.12)、(株)たすく (R5.10)に次いで4例目の宇宙関連企業の立地決定！

＜ショールームに展示予定の製品例＞



自社製品以外にも関連企業並びに県内企業の製品の展示も検討中

- ◆所在地 SANDBOX TOTTORI(鳥取市)
- ◆入居予定 令和5年12月中旬

← 惑星試料の輸送容器

県はとっとり先駆型ラボ・誘致育成補助金で支援予定

米子新工場（株式会社 源吉兆庵（岡山市））

県内三拠点目となる新工場建設が始動！（ヨーグルト等製造）
源吉兆庵・鳥取県・米子市の3者で**調印式**を開催

11月29日(水) ANAクラウンプラザホテル米子 琥珀鳥の間

とっとり生物多様性フォーラム

自然共生サイトの認定状況

◆ 本年10月の初認定で本県の2地域が自然共生サイトに認定！

- ・ 鳥取県八頭船岡環境保全エリア
- ・ 南部町の里地里山ビオトープ

県民の機運醸成のため

とっとり生物多様性フォーラムを開催！

11月25日(土) 鳥取砂丘コナン空港

ステージ

ごかこういち

- ・ 五箇公一氏(国立環境研究所)による基調講演
- ・ 県内の自然共生サイト認定団体等による取組状況の報告
- ・ 生物多様性パネルディスカッション(五箇氏、サントリーホールディングス、県内認定団体ほか)

その他

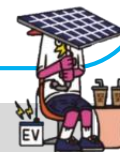
- ・ 見てさわって生きもの体験コーナー
- ・ 森の木バッジづくり など

GX.FES. 2023

11月26日(日) 境夢みなとターミナル

EV(PHV)車で御来場またはマイボトル持参で
『自治体マイナポイント』をプレゼント！

- ◆ 2050年脱炭素社会の実現に向けて 再エネに関心を持つきっかけを提供！
- ◆ 会場で利用する電源をすべて再エネとした“若者・子育て世代”向けの『音楽・お笑い・eスポーツ』イベントを開催！



🎮 再エネ×eスポーツ大会

「ねんりんピック鳥取大会」の競技種目『太鼓の達人』を再エネ由来の電力で実施

🍴 再エネ×地元マルシェ

食のマルシェ、再エネ機器の展示など

🎤 再エネ×ライブ

EV車からの給電(再エネ)によるAKB48・お笑い芸人マシンガンズのスペシャルライブを実施



県内学生COP28派遣

- ◆ 11/30～12/12にUAE(アラブ首長国連邦)のドバイ首長国で開催される「国連気候変動枠組条約第28回締約国会議(COP28)」に鳥取環境大・米子高専の学生(3名)を派遣



- ◆ 12/1～3まで、学生はCOP28に参加
 - ・ 知事ビデオメッセージ放映
 - ・ 学生が脱炭素社会に向け決意表明(ジャパンパビリオンのサイドイベント)
 - ・ 海外の環境先進自治体やユース団体との意見交換
- ◆ 2月にCOP28報告会開催

